



地域研究集会

第3回海と漁業と生態系に関する研究集会
2018/19の南極海東インド洋区における海洋生態系
—水産庁漁業調査船開洋丸による調査結果—

日時： 2021年12月7日（火）10:30～15:45

開催方法： オンライン形式
参加希望者は以下のウェブページより事前登録を行うこと
<https://forms.gle/WuDXtbDCBbuGJwhg6>

問い合わせメールアドレス： kaiyo.sympto.2021@gmail.com *受付は開催日まで

コンビナー： 村瀬弘人（海洋大）・安部幸樹（水産機構・資源研）

挨拶： 木村伸吾（水産海洋学会 会長） 10:30～10:35

趣旨説明： 村瀬弘人（海洋大） 10:35～10:40

話題

座長 松倉隆一（水産機構・資源研）

2018/19の南極海東インド洋区における開洋丸調査の概要

村瀬弘人（海洋大）・安部幸樹（水産機構・資源研） 10:40～11:00

海洋物理環境

山崎開平・（北大低温研）・平野大輔（極地研）・青木 茂（北大低温研）・勝又勝郎
（JAMSTEC） 11:00～11:20

海洋化学環境

戸澤愛美・田村哲也（北大院水）・中岡慎一郎（国環研）・野村大樹（北大北方生物圏セ）
11:20～11:40

基礎生産量

塩本明弘（東農大生物産業）・佐々木裕子（水産機構・資源研） 11:40～12:00

〈休憩〉 12:00～13:00

座長 佐々木裕子（水産機構・資源研）

マイクロプランクトン分布

大島海輝・西野康人（東農大生物産業） 13:00～13:20

メソ・マクロプランクトンの水平分布

松野孝平・浦部一平・杉岡陸人（北大院水） 13:20～13:40

ナンキョクオキアミの現存量推定

安部幸樹・松倉隆一（水産機構・資源研）・山本那津生（海洋大） 13:40～14:00

〈休憩〉 14:00～14:15

座長 安部幸樹（水産機構・資源研）

頭足類の群集組成

若林敏江・小中友貴（水産機構・水大校）

14:15～14:35

中深層性魚類の群集組成

岩見哲夫（東京家政学院大）・宮崎多恵子（三重大院生資）

14:35～14:55

海鳥類・鯨類の個体数推定

濱邊昂平・宮下富夫（水産機構・資源研）・長田玲子（海洋大）・國分互彦（極地研）・綿貫豊（北大院水）

14:55～15:15

総合討論

15:15～15:45

開催趣旨：

平成 30（2018）年度の水産庁漁業調査船開洋丸による「南極海東インド洋区におけるナンキョクオキアミを中心とした生態系総合調査」は南半球夏季（2018 年 12 月～2019 年 2 月）に 80° E から 150° E にかけての広大な海域で行われた。本海域におけるナンキョクオキアミを主対象とした同規模の調査は 23 年ぶりとなる。調査の主目的は（1）CCAMLR（南極の海洋生物資源の保存に関する委員会）が定めた標準法によるナンキョクオキアミ現存量推定とそれに基づく漁獲制限量の改定に資するデータ収集および（2）GO-SHIP（全球海洋各層観測調査プログラム）に準拠した海洋観測による海洋環境の長期変化の有無の検出に資するデータ収集であった。これらの主目的を軸に海洋環境、また低次生産者から高次捕食者を網羅する調査を行い、調査海域における海洋生態系の構造把握を目指した。本研究集会では同海域における海洋生態系研究への貢献を目的に基礎的な研究成果を発表するとともに、今後の研究や調査の方向性について展望する。